

メンテナンスマニュアル

品番

CKM-02

CKM-02W

CKM-04

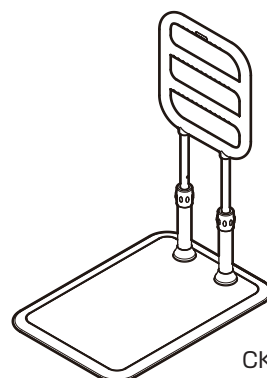
！安全に関する表示 2

1. メンテナンスの目安 2

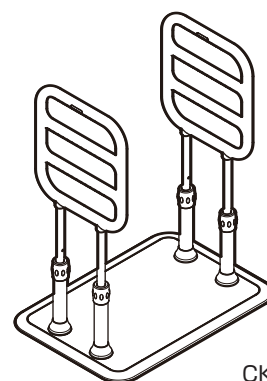
2. メンテナンス方法 3

3. 消毒方法 7

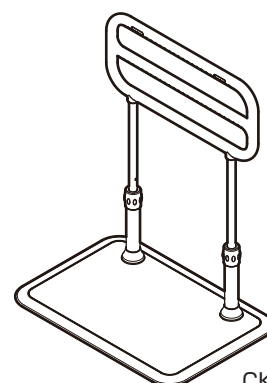
4. メンテナンス部品表 8



CKM-02



CKM-02W



CKM-04

お買い上げありがとうございます

☐ 販売店様

このメンテナンスマニュアルを必ずお読みになり大切に保管してください。

！安全に関する表示

※いずれも安全に関する内容ですので必ず守ってください。

 警告	誤った使用をされた場合、「死亡や重傷につながる可能性がある」内容を警告しています。	 禁止	してはいけない内容です。
 注意	誤った使用をされた場合、「傷害や財産への損害につながる可能性がある」内容を注意しています。	 必ず守る	必ず守っていただく内容です。

1. メンテナンスの目安

● 対処方法は「2. メンテナンス方法」をご確認ください。

場 所	状 態	対 処 方 法 (「2. メンテナンス方法」参照)
全体	➡ 汚れ	➡ [1] 拭き取り
	➡ ガタつきがある	➡ [2] ねじのゆるみ点検 [7] 部品交換
	➡ 部品の変形、深い傷、亀裂	➡ [7] 部品交換
	➡ 部品がうまく取り付けられない	➡ [3] 取付方法の確認 [7] 部品交換
	➡ ねじがスムーズに回らない	➡ [7] 部品交換
ベース	➡ 錆	➡ [4] 錆の除去 [7] 部品交換
	➡ 塗装面の傷、塗装の剥がれ	➡ [5] 塗装面の補修
	➡ スロープ面の割れ、変形、深い傷	➡ [7] 部品交換
スタンド	➡ 塗装面の傷、塗装の剥がれ	➡ [5] 塗装面の補修
	➡ ねじ部のガタつき	➡ [7] 部品交換
	➡ スタンド裏のシートの破れ	➡ [7] 部品交換
手すりフレーム	➡ 手すり部の割れ、ヒビ、表面の剥がれ	➡ [7] 部品交換
	➡ フレーム支柱部の塗装面の傷、塗装の剥がれ	➡ [5] 塗装面の補修
	➡ 手すり部表面の汚れ、色落ち、変色	➡ [5] 塗装面の補修
マット	➡ マットの剥がれ、汚れ	➡ [6] マットの洗濯 [7] 部品交換

2. メンテナンス方法

[1] 拭き取り

- 水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭いてください。

⚠ 注意	
禁止	● 酸性・アルカリ性洗剤は使用しない。 錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。必ず中性洗剤を使用してください。
	● シンナー・ベンジンなどは使用しない。 変質して破損するおそれがあります。
	● たわしや磨き粉などで磨かない。 傷がつくおそれがあります。
必ず守る	● 直射日光は避けて、陰干しする。

[2] ねじのゆるみ点検

- 必要工具：ドライバー（または丈夫なスチール棒 ※棒の直径φ8未満）
- 下図の穴がキャップやスタンドカバーに隠れるまで締め付けられていることを確認してください。
ゆるんでいる場合は、穴が隠れるまでキャップとスタンドを締めてください。
- 手すりフレームにガタつきがないこと、穴が隠れていることを確認してください。
- キャップが空転する場合は、中のスリーブのツメがスタンドにしっかり嵌っているか確認してください。
- 締め付けてもガタつきがある場合は、部品に変形や深い傷、亀裂がないか確認し、「[7] 部品交換」を行ってください。

⚠ 注意	
必ず守る	● スタンド側面の穴がスタンドカバーやキャップに隠れていることを確認する（上図参照）。 穴が見えている場合は、まだ締め付けが不足しています。穴が隠れるまで締めてください。
必ず守る	● スリーブのツメがスタンドの穴にはまっていることを確認する。 ツメがしっかりスタンドに嵌合していないと、キャップが空転することがあります。

[3] 取付方法の確認

- 正しく取り付けられているか、「たちあっぷ サムリング 取扱説明書」で取付方法をご確認ください。
取扱説明書通りの取付方法でも部品がうまく取り付けられない場合は、部品に変形や深い傷、亀裂がないか確認し、適切に「[7] 部品交換」を行ってください。

[4] 錆の除去

<作業手順>

必要工具：紙やすり（耐水性）（推奨粒度：ひどい錆には #300、それ以外は #1000）

(1) 紙やすり（耐水性）を使用しやすい大きさに切ってください。

(2) 紙やすり（耐水性）#1000 で錆を取り除いてください。

(3) (2) で取り除けない場合は紙やすり（耐水性）#300 で錆を取り除き、紙やすり（耐水性）#1000 で仕上げてください。

- 同じところを磨き続けると、その部分だけが軽く陥没することになりますので、注意してください。
- 部品に変形や深い傷、亀裂がある場合は、「[7] 部品交換」を行ってください。

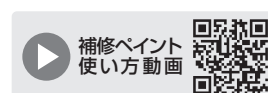
[5] 塗装面の補修

金属塗装部分の補修（フレーム支柱部・スタンド・ベース補強板）

- 汚れ・油をよく拭き取り、専用の補修用スプレー CKM-BG（色：オフホワイト）で補修してください。
※専用水性塗料は「4. メンテナンス部品表」を参照してください。
 - ・本スプレーは水性塗料ですが、塗装を行う際は屋外または換気の良い場所で行ってください。密閉された作業場で行う場合は、換気装置を設け、塗装中、乾燥中ともに換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
 - ・塗膜の形成は水分の蒸発に左右されますので、乾燥時の雰囲気（気温、湿度等）の影響を大きく受けます。
低温化及び高湿度下では、溶剤系塗料に比べて乾燥に時間がかかります。
乾燥の目安・・・普通時(20℃)：約 20 分 冬季(5℃)：約 30 分
推奨使用環境・・・5℃～ 30℃ 湿度 80%以下
 - ・本スプレーは低温化で凍結します。一度凍結した塗料は変質し、再溶解しても使用することはできません。
- 本スプレーは金属部品（フレーム支柱部・スタンド・ベース補強板）の塗装の剥がれを修正するものです。
- 本スプレーはフロンガスやトルエン、メタノール、酢酸エチル等の有害物質を使用しておりません。

手すりフレームの補修（ウレタン塗装部）

- 表面に付着している汚れや離型剤を除去してから、専用の補修ペイントで補修してください。
手すりフレーム（ウレタン塗装部）の表面には、生産時の離型剤が付着しています。
※専用の補修ペイントの詳細は「4. メンテナンス部品表」を参照してください。
 - ・本塗料は手すり部のウレタン塗装部を塗装するための補修品です。
 - ・深い傷や欠損などがある場合には「[7] 部品交換」を行ってください。
 - ・補修ペイントは十分に攪拌してから使用してください。



1. 表面に付着している汚れや離型剤を濃度 80%以上のアルコールで除去してください。
離型剤の除去が不十分ですと、塗料の密着性が低下することがあります。



2. 塗料をスポンジに取り、手すりフレーム表面に軽く叩き込むように塗布します。
スポンジは、メイク用スポンジなど目の細かいものを推奨します。
重ね塗りする場合は、時間を置いて表面が完全に乾いてから行ってください。



- ☐ 塗料の乾燥時間の目安は以下の通りです。
普通時(23℃)：約 1 時間、冬季(5℃)：約 2 時間
推奨使用環境・・・5℃～ 30℃ 湿度 85%以下
- ☐ 塗料は、きちんとキャップを閉め、直射日光を避けて保存してください。容器のキャップやねじ部に塗料が付着している場合は、水で濡らしたウエスで塗料を拭き取ってからキャップを閉めてください。

⚠ 注意



必ず守る

- 塗装面を補修する際は、屋外または換気の良い場所で行う。
密閉された作業場で行う場合は、換気装置を設け、塗装中、乾燥中ともに換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 補修用スプレー・補修ペイントの容器ラベルをよく確認し、作業する。

[6] マットの洗濯

- マット表面に汚れが付着した場合は、掃除機などで取り除くか、水か中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭き取ってください。
- 上記で汚れが取れない場合はマットを洗濯してください。
 - ・洗濯機は弱水流で中性洗剤を使用してください。
 - ・液温は 30℃が限度です。
 - ・乾燥機の使用はできません。
 - ・柔軟剤は使用しないでください。
 - ・漂白剤による漂白は行わないでください。
 - ・洗濯の後は陰干してよく乾かしてから使用してください。
- マットを洗濯してもマットが剥がれたり、汚れが落ちない場合は「[7] 部品交換」を行ってください。
- 寒くなると低温による樹脂の硬化や乾燥などの要因により吸着力が弱くなる場合があります。その場合は、ぬるま湯につけて絞った布で拭き、部屋の温度を暖かくすることで吸着力は復活します。

	液温は 30℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止
	日陰のつり干しがよい
	タンブル乾燥禁止
	アイロン仕上げ禁止

[7] 部品交換

- メンテナンス部品は「4. メンテナンス部品表」をご確認ください。
- 部品交換の方法は「たちあがり サムリング 取扱説明書」をあわせてご確認ください。

⚠ 注意	
 必ず守る	● 部品交換を行う際は、指定部品を使用する。
	● 部品交換を行った際は、使用前にガタつき・ねじのゆるみ・締め忘れがないことを必ず確認する。
	● 定期的にガタつき・ねじのゆるみ・部品の破損がないことを確認する。

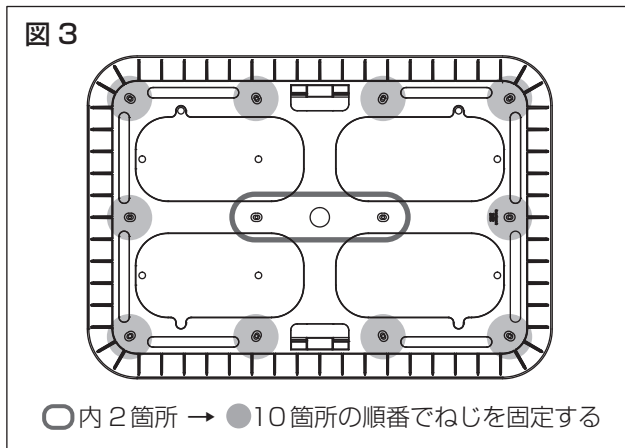
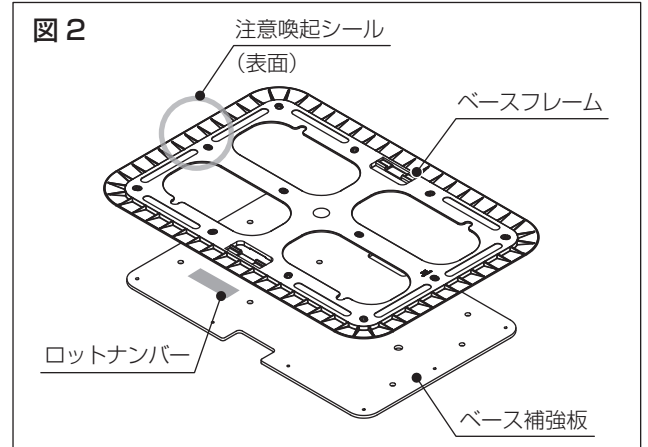
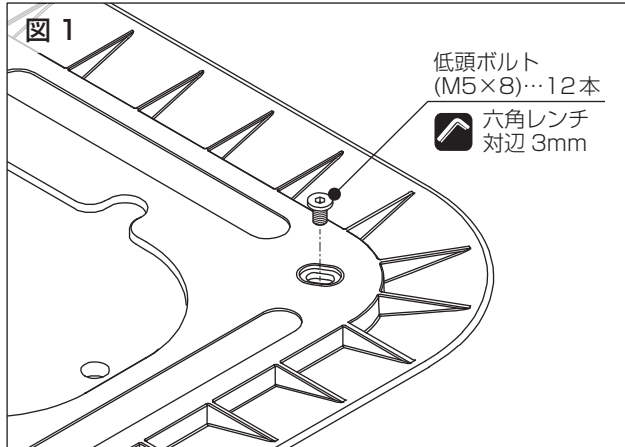
蓄光シールの交換方法

- ① フレームに付いている蓄光シールを剥がし、よく乾燥させます。
剥がした後、フレームに付着物が付いている場合は、接着面の汚れをきれいに拭き取ってください。
- ② フレームの蓄光シール取付位置にプライマーをハケで均一に塗布します。
推奨プライマー：ボンド シールプライマー # 7 N（コニシ株式会社）
- ③ プライマーを乾燥させてから、新しい蓄光シールを貼り付けます。

⚠ 注意	
 必ず守る	● プライマーは使用する商品の取扱説明書をよく確認し、作業する。

ベースフレームの交換方法

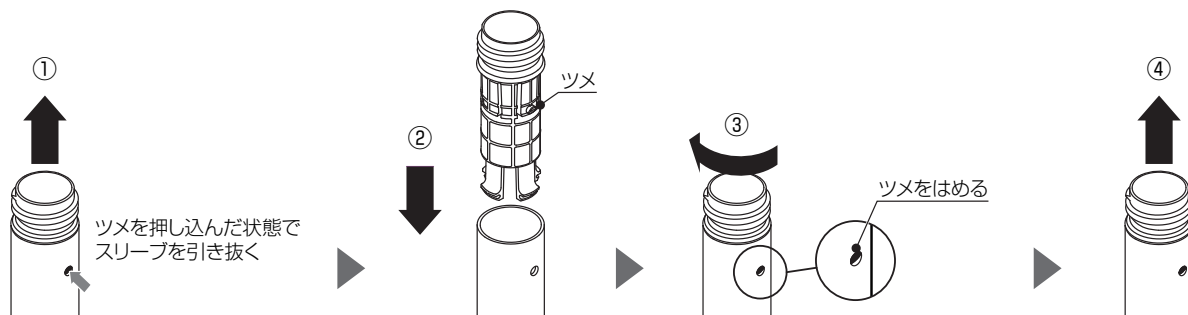
- ①六角レンチでベース裏面の低頭ボルト 12 箇所をゆるめ [図 1]、ベース補強板からベースフレームを取り外します。
- ②ベース補強板に新しいベースフレームを取り付けます。
ベース補強板をロットナンバーの記載のある面を上向きにして置き、ベースフレームを注意喚起シールが貼ってある側面をロットナンバーの方へ合わせ、はめ込んでください [図 2]。
- ③ベースフレームをベース補強板に低頭ボルト (M5 × 8) で固定します。
低頭ボルトは初めに中央 2 箇所を固定し、その後残りのねじ 10 箇所を固定してください [図 3]。
締め付けトルクは、0.80N · m {8.2kgf · cm} です。



⚠ 注意	
●ベース補強板表面から低頭ボルトの頭が飛び出さないように注意する。 低頭ボルトを強く締め付けると、ベース補強板表面からボルトの頭が飛び出します。 ベースフレーム取り付け後、ベース補強板表面からボルトが飛び出していないことを確認してください。 ケガの原因になるおそれがあります。 必ず守る	ベース補強板 低頭ボルト ベースフレーム
●ベース補強板は重いので注意する。 落下させたり、縁で手を切らないよう、注意して作業を行ってください。 必ず守る	

スリーブの交換方法

- ①スタンドからスリーブを取り外します。
- ②新しいスリーブをスタンドに差し込みます。
- ③スリーブを回し、スリーブのツメをスタンドの穴にはめます。
- ④軽く上に引っ張って抜けないことを確認してください。



キャップの交換方法

- ①ラジオペンチやプライヤーなどを使い、フレーム端部に付いているキャップを掴みます。
- ②掴んだキャップを回転させながら引っ張ると抜けてきます。
- ③新しいキャップを差し込み、ゴムハンマーなどで軽く叩きながら奥まで押し込みます。
- ④フレーム端部とキャップに隙間がないことを確認してください。



3. 消毒方法

- 消毒は納入業者、または消毒施設のある業者に依頼してください。
- アルコール清拭消毒、逆性石鹼清拭消毒などを推奨します。消毒後は、仕上げに水拭きをしてください。
- 手すり部をアルコールで強く擦ると色落ちする場合がありますのでご注意ください
- この製品に使用している素材の物性を考慮した消毒方法を選択してください。
- 塩素系の消毒液を使用する場合は、使用する消毒液の使用方法及び使用上の注意に従い、希釈して使用し、仕上げに水拭きをしてください。（参考：次亜塩素酸ナトリウム 6%水溶液なら 120 倍～ 300 倍程度に希釈）

⚠ 注意

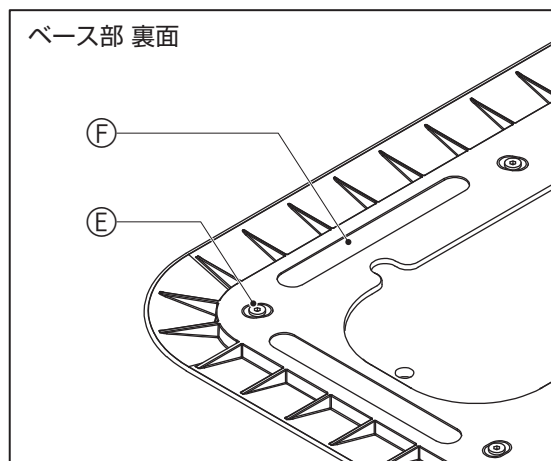
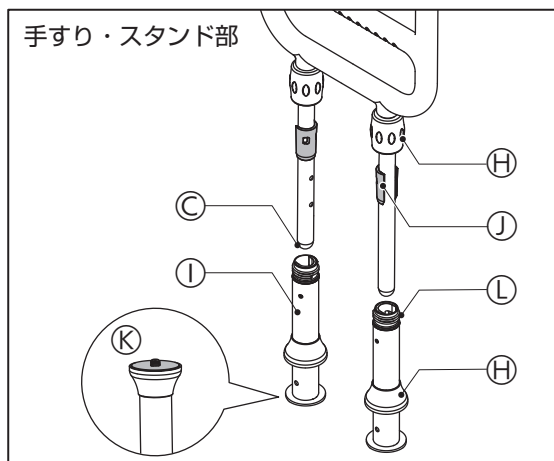
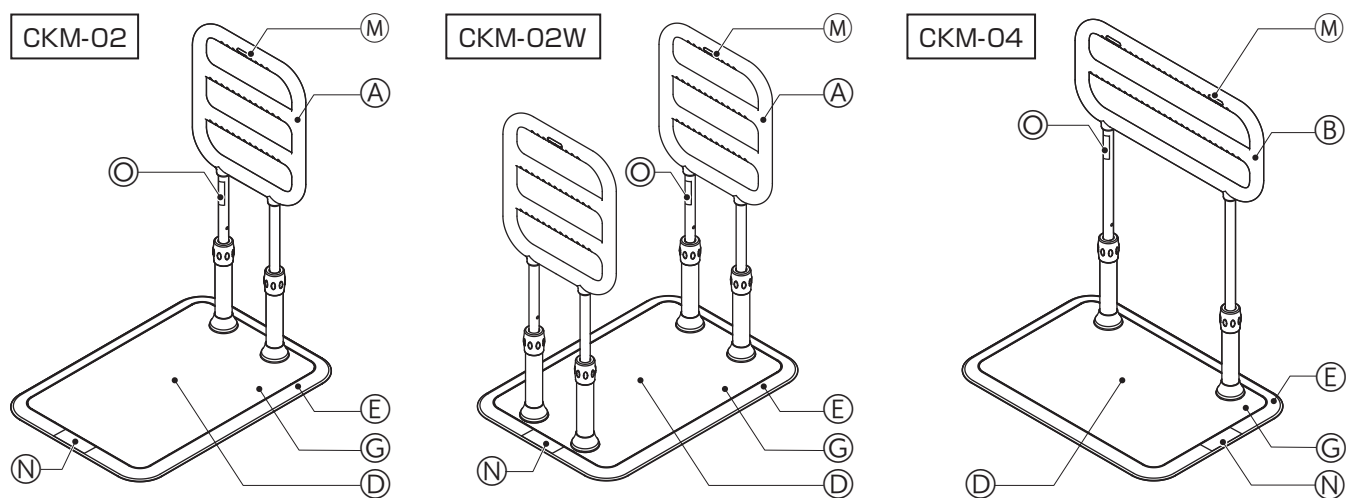


- オゾンガス・ホルムアルデヒドガスは使用しない。
変質して破損するおそれがあります。

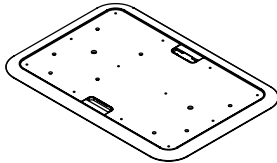
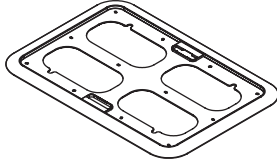
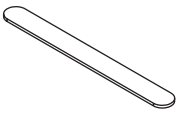
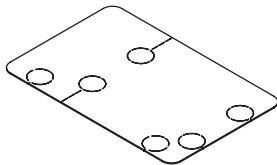


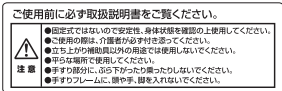
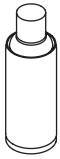
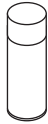
- アルコール系の消毒液や逆性石鹼、塩素系の消毒液が付着した場合は水拭きをし、製品表面に消毒液が残らないようにする。
錆、変色、変質、塗装の剥がれの原因になります。
- 手すり部をアルコールで強く擦らない。
強く擦ると色落ちすることがあります。

4. メンテナンス部品表



記号	対象品番	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
A	CKM-02 CKM-02W	たちあっぷ サムリング フレーム	CKM-FM02		ウレタン被覆スチールパイプ	1 台
B	CKM-04	たちあっぷ サムリング フレーム	CKM-FM04		ウレタン被覆スチールパイプ	1 台

記号	対象品番	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
C	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぶサムリング 穴付きキャップ	CKM-F3 10個		プラスチック	10 個
D	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぶ サムリング ベースセット (ゴム板付)	CKM-A		スチール プラスチック エラストマー樹脂	1 台
E	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぶ サムリング ベースフレームセット (ゴム板付)	CKM-A1	 ベースフレーム 1 枚  低頭ネジ (M5 × 8) 12 本	プラスチック エラストマー樹脂 スチール	1 セット
F	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぶ サムリング ゴム板	CKM-A2 40個		エラストマー樹脂	40 枚
G	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぶ サムリング マット	CKM-DA GR CKM-DA DGR CKM-DA BR CKM-DA B CKM-DA G		表：ポリエステル樹脂 裏：アクリル樹脂	1 枚
H	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぶ サムリング スタンドアウターセット	CKM-B1	 キャップ 1 個  スタンドカバー 1 個	プラスチック	1 セット
I	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぶ サムリング スタンドセット (パット付)	CKM-B2		プラスチック スチール	1 本
J	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぶ サムリング パイプ止め	CKM-B3 10個		プラスチック	10 個

記号	対象品番	部品名	部品番号	部品図	材質	入数
K	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぷ サムリング パット	CKM-B4 10個		プラスチック	10 枚
L	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぷサムリング スリーブ	CKM-B5 10 個		プラスチック	10 個
M	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぷ サムリング 蓄光シール	CKM-F1 50個		プラスチック	50 枚
N	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぷ サムリング 注意喚起ステッカー A	CKM-A3 50個		プラスチック	50 枚
O	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぷ サムリング 注意喚起ステッカー B	CKM-F2 50個		プラスチック	50 枚
—	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぷ サムリング 補修用スプレー	CKM-BG OW 1個	金属塗装用 (色: オフホワイト) 	アクリル水性塗料	1 本 (300ml)
—	CKM-02 CKM-02W CKM-04	たちあっぷ サムリング 補修ペイント	CKM-F4 MW 1個	手すりフレーム用 (色: ミルキーホワイト) 	アクリル水性塗料	1 本 (50g)

[illegible]

※製品の仕様等は、予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

● 矢崎化工株式会社

■ 本 社 〒422-8519 静岡県静岡市駿河区小鹿 2-24-1

介護支援ページ
kaigo-web
<https://www.kaigo-web.info/>

■ 北 海 道 支 店 福祉介護課
〒072-0007 北海道美幌市東 6 条北 8-2-1
TEL 0126(63)4285

■ 仙 台 支 店 福祉介護課
〒981-1223 宮城県名取市下余田字中荷 280
TEL 022(382)2145

■ 関 東 支 店 福祉介護課
〒373-0823 群馬県太田市西矢島町 88
TEL 0276(38)4562

■ 東 京 支 店 福祉介護課
〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 1-38-3
TEL 04(2944)7113

■ 神 奈 川 支 店 福祉介護課
〒257-0024 神奈川県秦野市名古屋 3-4
TEL 0463(81)4315

■ 名 古 屋 支 店 福祉介護課
〒484-0963 愛知県犬山市字鶴池 48-2
TEL 0568(67)0111

■ 大 阪 支 店 福祉介護課
〒569-8551 大阪府高槻市大塚町 5-1-1
TEL 072(672)8440

■ 広 島 支 店 福祉介護課
〒738-0042 広島県廿日市市地御前 1-7-17
TEL 0829(36)1111

■ 九 州 支 店 福祉介護課
〒820-0702 福岡県飯塚市平塚 481-1
TEL 0948(72)0310

23092510

DW-301-05